

シロイヌヒゲ

Eriocaulon sikokianum Maxim.

ホシクサ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

湿地の開発や除草剤の使用により近年減少が目立っている。これまでに20ヶ所以上の産地が知られているが、今回は6ヶ所の確認報告があった。(現況:R-)

形態

イトイヌヒゲに似るが、葉は幅2~4mm、葉先まで横脈が目立つ。頭花は幅8~10mm、総苞片は卵状披針形で頭花より長く先は鋭くとがる。花は3数性で、柱頭は3岐、子房は3室。萼や花弁の先にはシロイヌヒゲと同様に細長い粉状の短白毛を密布する。ニッポンイヌヒゲは、総苞片はより細長く質厚く、頭花の粉状の短白毛はほとんど目立たない。

国内分布

本州~九州。

県内分布

外浦区(輪島市、志賀町富来地区)、中能登区(志賀町、羽咋市、七尾市)、南加賀区(小松市、加賀市)。

生態など

一年生草本。花期8~9月。

生育環境

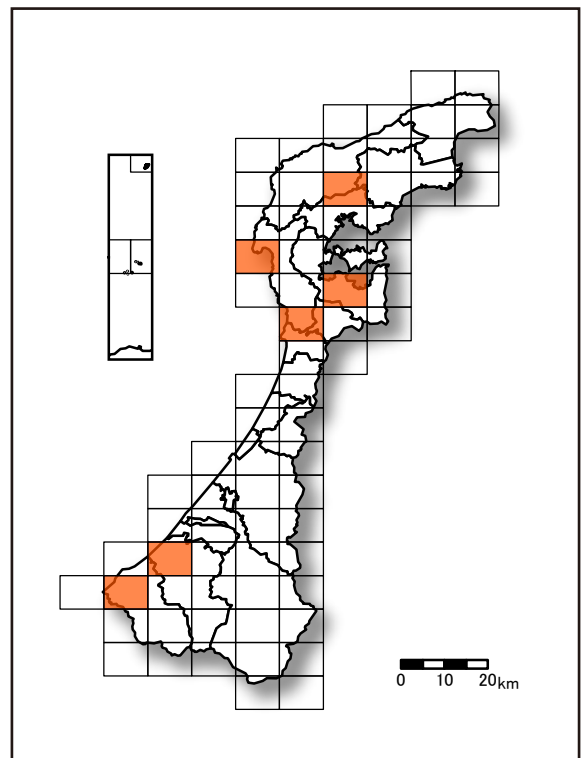
湿地や水辺。

危険要因

池沼開発、管理放棄、自然遷移。



小野ふみ糸・2008年10月20日・志賀町



県内の分布